ホームページをお持ちの方へ

ホームページの「鍵」、かけ忘れていませんか？

ホームページの古い部分や設定の甘さは、外から入り込まれる「すき間」になります。このすき間のことを、**脆弱性（ぜいじゃくせい）**といいます。

いま、実際に起きています（2026年）

PHP2Shell：多くのサイトが使うPHPに重大な脆弱性が見つかり、10月21日に修正版が公開されました（IPAも注意喚起）。サポート終了の古いPHPには、通常の修正版がありません。

長野県大町市のサイトは、システムの弱点を突かれて書き換えられ、約1か月半後に外部からの通報で発覚しました。

すき間を放置すると、こんなことが…

ページの書き換え
勝手に内容を変えられ、怪しいサイトへ誘導される

情報の漏えい
問い合わせフォーム等、お客様の情報が盗まれる

停止・信用の低下
サイトが止まり、復旧や説明に時間と手間がかかる

だから、まず無料診断　無料

SecPoint Penetrator・OWASP ZAP 等の専用ツールで外から確認し、結果をご報告します。

どんなテストをするの？

ソフトの古さ確認
使っているソフトが古くないか確認します。

入口の自動探索
専用ツールで入口を自動で探します。

設定の甘さ確認
公開してはいけない場所がないか確認します。

1　お問い合わせ　2　無料診断　3　結果のご報告　4　対策のご提案

見つかったすき間は、サーバー（Apache・NGINX）やPHP・WordPressの更新等で塞ぎます。

診断のお申し込み・ご相談はこちら

有限会社ケー・アンド・エフコンピュータサービス

TEL：026-231-6588　メール：security@kfcs.co.jp

※ 診断はサイト所有者様のご承諾をいただき、範囲と日程を事前に確認して実施します。診断ツールによる確認のため、すべての弱点を見つけられるとは限りません。対策作業は、ご納得いただいた場合のみ実施します。

出典：IPA（2026年10月22日）、ScanNetSecurity（2026年9月30日）